

岡山市市民協働推進モデル事業 評価表/公開用

終了編

事業名	大丈夫！三世代で見守る安心子育てサポーター養成講座			団体名	NPO法人マザーリーフ	
				担当部署名	岡山市子ども企画総務課	
予算総額	500,000円		補助総額	400,000円		
1 目標の達成状況	<p>「事業実施前の岡山市の状況」 文章、数値、図等により事業実施前の岡山市の状況を表してください。岡山市(担当課)やその他の利害関係者との関係性も記載してください。</p> <p>* 情報に振り回され、人の言葉をうのみにする。 * 常にまわりと比較する。 * 一方的な偏った見方 など、何かあればすぐにパニックに陥り、心を病んでしまう大人たちが 多い。 特に子育て中の親たちの心が安定しておらず、感性の乏しさも 見受けられる。</p> <p>行政機関でも相談窓口は設けてあるが、相談時間も決まっており、 また相談内容によってはそこまででもないなど、相談者にとっては 敷居の高いイメージもあり利用しづらい。</p> <p>NPOや民間でも相談活動はしているが、きめ細やかに寄り添うという 体制が取れていない。</p> <p>⇒地域で身近に相談できる人材の不足と一人一人の意識付けの 大切さを痛感する。</p>			<p>「事業実施後の岡山市の状況(成果)」 文章、数値、図等により事業実施後の岡山市の状況を表してください。岡山市(担当 課)やその他の利害関係者との関係性の変化や協力状況なども記載してください。</p> <p>* 講座自体がカウンセリングとなっており、受講することで自分自身の見直しと なった。 ⇒型にはまった考え方からの脱出 パニックからの解放</p> <p>* 講座受講者 9月/20名 10月/20名 11月/40名 12月/34名 1月/16名 計 130名</p> <p>* 講座受講者向け研修会 2月15日(10時～15時) 25名+発表者5名 計 30名</p> <p>* アンケート結果(別紙添付) 受講前は漠然とした思いだけの受講者が、受講後ははっきりとした目標を掲げる ことができるようになった。 ⇒ マザーリーフでの講座(心理学、傾聴方法など)、活動に関わりたい方8割 ⇒ 子育て支援、高齢者支援などで実践をしながら相談員、カウンセラーを目指す</p> <p>* 公民館を中心に引き続き講座を開催しながら、希望者にはスタッフが マンツーマンで相談に応じるなど、実践としての動きを見せながら人材育成に 努め、今後の活動を展開していく。 ⇒ 公民館使用にあたり、市より協力をあおぐ。徐々に各地域の公民館に活動の 場を広げる。</p>		
	2 チェックリスト	NO.	評価項目	自己評価		
			想定以上	想定通り	想定以下	
1		事業の定性目標は予定通り達成できましたか？	○			
2		事業の定量目標は予定通り達成できましたか？	○			
3		事業はスケジュール通り進行しましたか？		○		
4		すべての工程を丁寧に進行できましたか？	○			
5		当初の想定通りに相互の強みが発揮されましたか？	○			
6		当初の想定通りに役割分担が行われましたか？		○		
7		当初の想定通りに利害関係者を巻き込みましたか？		○		
8		団体と担当部署の情報共有は積極的に図られましたか？		○		
9		決算は概ね予算通りの収支となりましたか？		○		
10	協働による相乗効果が発揮されましたか？		○			